

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標3\_経済・雇用】

施策 3-4\_観光・物産の振興

	基本計画	事業番号	細事業名称
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07030_11	銅婚の里PR推進事業
3-04-01	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	07069_01	マイントピア別子端出場整備事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07030_08	着地型旅行商品企画・造成事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_06	県外物産展開催事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_09	食を通じた観光宣伝充実事業
3-04-02	新居浜ブランドの育成・拡大	07077_11	七福芋ブランド推進事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_02	にいほま納涼花火大会事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_05	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_10	とっておきの新居浜検定事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_11	一宮の杜ミュージアム推進事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_12	新居浜観光ガイド事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07028_20	にいほまわくわく春祭り事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07030_01	観光宣伝推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_01	NS観光推進協議会事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_02	別子・翠波はな街道サイクリング事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07033_03	三市連携広域観光宣伝推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07088_01	観光施設整備事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07221_01	太鼓祭り観光資源化推進事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07225_01	えひめさんさん物語スパイラルアップ事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07254_01	新居浜市観光物産協会事業補助金
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07256_01	地方創生インターン観光資源活用事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07258_01	別子山観光交流施設整備事業
3-04-03	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	07259_01	市制85周年記念新居浜太鼓祭りイベント事業
3-04-04	観光マーケティング機能の導入と受入体制の充実	07210_03	インバウンド推進事業

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報		事後評価	2022	07030_11			
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	銅婚の里PR推進事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策				
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課				
観光物産課		観光物産課					
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外からの入込観光客数		数値			
	手段(どうやって)	銅(あかがね)の里新居浜で、結婚7年目(銅婚)を祝い、別子銅山の産業遺産、あかがねミュージアム、マウントピア別子、広瀬歴史記念館など「銅」をテーマとしたイベント機会、情報発信を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子銅山近代化産業遺産等を活用した観光振興を図ることにより、新居浜市のブランドイメージを高め、交流人口の拡大を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)		令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		3,059	3,338	3,338	3,271		
財源	県・国支出金	1,380	1,669	1,669	1,401		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,679	1,669	1,669	1,870		
○委託料 2,838千円 ○負担金補助及び交付金 500千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
参加者数		目標値	90	90	100	150	150
		実績	49	140	188	202	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>前半に実施した銅婚Weekは好評であり、目標としていた銅婚対象者100組の来場にはわずかに及ばなかったが、初めて実施した昨年度は60組だったのに対し、参加者数は増加した。銅婚Weekは銅婚式を迎える夫婦が対象であるため、毎年対象者が変わっていく。本事業は、「銅婚の里にいはいま」を定着させるために実施しており、銅婚Weekは毎年同じ時期に長期に亘って実施することで、まずは市民に「銅婚式」を祝う習慣を定着させていくものである。後半には、市外住民を対象した銅婚ツアーの開催を予定している。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>令和2年度より地域ポイント制度と連携し、新居浜市民の銅婚式を迎える夫婦にポイントプレゼントを企画するなど、新居浜＝銅婚式を祝う街としての定着をめざしている。新居浜市民が自ら祝い、市外からも祝いに訪れる街となるためには、地道な取り組みが大切であり、定着に向けては効率性の高い事業ではないが、年1回のツアーの実施と並行して、市民に銅婚式を祝う雰囲気を醸成する必要がある。知名度は徐々に上がってきているものの、「結婚7周年」＝「銅婚式」＝「新居浜で想い出作り」という図式を作り出し、観光客数の増加に繋げるためには、長期的な取り組みが必要である。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>「銅婚の里にいはいま」を切り口に、市内に点在する近代化産業遺産群や自然・景観等の観光資源を各種媒体の活用及び参加者の口コミ等によって紹介宣伝することにより、各観光資源の認知度向上と入込客増加につなげることができた。また、銅婚ツアーについては、遠くは神奈川県からの参加があったり、アンケートでは「数年前から銅婚式を新居浜で祝うことを計画していた」といった声もあり、ブランドイメージの向上につながっている。引き続き、「銅」をテーマとした観光資源として定着させ、交流人口の拡大を図るため、引き続き本事業に取り組んでいく必要がある。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07069_01		
事業名(行目名称)		マイントピア別子端出場整備事業	細事業名	マイントピア別子端出場整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	近代化産業遺産群を活用した観光の振興	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数	数値	2			
	手段(どうやって)	必要箇所の修繕及び計画に基づいた定期的な改修工事等を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	常に快適かつ安全に利用してもらえるよう施設、設備等の整備を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		52,946	12,300	12,300	7,527	○需用費 3,200千円 ○委託料 5,558千円 ○工事請負費 3,542千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	33,900	0	0	0		
	その他	7,899	657	657	527		
一般財源		11,147	11,643	11,643	7,000		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
修繕箇所及び工事件数			目標値	20	20	20	20
			実績	10	22	6	12
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
<p>竣工から30年を迎える観光地マイントピア別子 端出場ゾーンに係る修繕・工事等の事業となり、施設が建物寿命60年目安の折り返しとなっていることから、修繕および工事件数が増加している。また観光交流施設についてはオープンから5年が経過していることもあり、子ども用遊戯施設のおもちゃや温浴設備の各種設備などを更新していく必要が生じている。施設利用者の安全で快適な利用環境の構築を図り、安定的な施設運営を実施するため、時間保全や事前修繕による設備維持を行う必要があることから重点化する。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>建物寿命目安60年の折り返し地点となっていることから、今後の施設の長寿命化を図るため、必要設備を定期的に修繕・工事、更新を行っていく必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>マイントピア別子については、平成3年の設立から約30年が経過し、施設運営に必要な基幹設備をはじめ、各設備等の修繕の必要が生じている。新居浜市における観光地であるマイントピア別子及び新居浜市観光交流施設を臨時休館することなく、利用者に快適で安全なサービス提供・利用環境を整えるため、計画的な基幹設備の更新、老朽化設備の改修を行う必要がある。令和3年度に策定(令和4年度改定)したマイントピア別子の長寿命化計画に基づき、計画的に設備の更新、修繕を進める。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07030_08		
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	着地型旅行商品企画・造成事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民及び市外からの観光客	数値	1,523,187			
	手段(どうやって)	観光素材集の整備・見直し、旅行会社等への当市観光資源のアプローチ ・県内外大学と連携した新規コンテンツの造成ならびに既存コンテンツのブラッシュアップ					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光施設、郷土料理、宿泊施設等の観光素材を取り込んだ着地型旅行商品を開発、流通させることにより、誘客機能の強化を図るとともに、観光客の滞在時間の増加を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 4,580千円	
経費		3,736	4,580	4,580	4,474		
財源	県・国支出金	1,868	1,897	1,897	1,897		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,868	2,683	2,683	2,577		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
旅行商品販売数等(モニター含む)		目標値	10	10	10	10	10
		実績	7	9	0	7	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>当市内観光素材の掘り起こしならびに既存素材の整理およびPRを実施し、また旅行会社等への営業も実施することで旅行商品の造成にも寄与した。加えて、県内外大学と連携し、既存観光素材のブラッシュアップおよび情報発信の強化を図っている。新型コロナウイルス感染症の影響により、ツアー実施等の機会獲得が難しい現状であるが、観光素材の獲得などアフターコロナを見据えた検討を進めている。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>観光素材の掘り起こしについては急増することはないため、継続的かつ着実な取り組みが必要であり、大学連携を活用しながら新路線でのコンテンツ造成を実施、また既存素材のブラッシュアップを実施したことから、一定の整理が出来ていると考える。新居浜市の観光業の盛り上がりを図るため、既存素材の磨き上げと新規素材の発見、効果的な情報発信と共に、旅行会社等への営業を実施することで旅行会社の自主事業として当市にかかる旅行商品化等を推進すべきであり、大学連携をはじめとする新居浜市素材の再発見を並行して行っていくことで事業を推進する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
<p>当市内観光素材の掘り起こしならびに既存素材の整理およびPRを実施し、また旅行会社等への営業も実施することで旅行商品の造成にも寄与することに加えて、県内外大学と連携した既存観光素材のブラッシュアップおよび情報発信の強化を図る事業である。コロナ禍において計画的に進まない点もあったものの、発地型でない着地型の旅行商品造成に寄与することで、観光地としての集客基盤の向上に努めた。より良い素材のブラッシュアップを行い、引き続き着地型旅行商品の造成等に努めるため、事業内容の改善を検討し、継続して実施する必要がある。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07077_06		
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	県外物産展開催事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外からの入込観光客	数値	778,445人			
	手段(どうやって)	県外(大阪・東京)での物産展の開催(せとうち旬彩館 2回、愛媛県大阪事務所 1回)、マツダスタジアムでの観光物産PR、都市間交流協定に伴う「大府産業文化まつり」への出展					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜ブランドの宣伝普及のための県外での物産展開催等により、本市の知名度アップ及び商品の販路拡大、ひいては地場産業の活性化を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 1,240千円	
経費		330	1,240	1,240	1,172		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	330	1,240	1,240	1,172		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
事業参加店舗数		目標値	20	20	10	20	
		実績	4	0	1	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、当市内事業者については事業者の自発的な県外出展が阻害される現状にある。しかしながら、本事業は当市の知名度アップならびに特産品の販路拡大を図ることはもちろん、市場の動向を把握する機会を得ることにより、観光・物産のブラッシュアップ、ひいては観光物産施策の改善につながる可能性が高いことから、市内事業者において引き続き県外における出展・販売の機会を創出することが重要と考えており、現状維持にて実施するものとする。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>本事業は本市の知名度アップ及び商品の販路拡大に繋がる一方で、違う地域での売込により新たな機会創出を目指す必要もあることから、行先の見直し、検討を加えつつ、現状維持にて実施するものとする。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>コロナ禍の影響により、当市内事業者については自発的な県外出展が阻害される現状にあるものの、当事業により県外出展へのきっかけをつかむ事業者も少なからずあった。継続した観光・物産のブラッシュアップ、市内事業者の販路拡大に寄与することからも、引き続き事業実施を図る必要がある。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07077_09		
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	食を通じた観光宣伝充実事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光消費額	数値	3,693,774千円			
	手段(どうやって)	ご当地グルメ選手権を開催し、新たなご当地グルメの開発や市民への周知を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域間競争を勝ち抜くための地域特性を活かした観光まちづくり推進のため、新たな視点である「食」分野において、ご当地食の再発見による観光振興や付加価値のある飲食品の創出等に取り組み、新居浜ブランドの魅力向上による交流人口の拡大を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 1,413千円	
経費		1,403	1,413	1,413	1,413		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,403	1,413	1,413	1,413		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
開発メニュー数		目標値	10	10	0	10	10
		実績	17	10	0	12	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和3年度は、コロナ禍によりイベント実施が令和4年3月となったため、本来であれば春先実施の予定であったが、時期をずらして10月30日にイベントを開催することとしている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新居浜市は特産品がないと言われているが、これまで「食」に関するイベントの実施も少なかった。グルメ選手権としての開催は、市民からも受け入れられやすく、飲食店による新メニュー開発の良い機会となっている。また、イベント化することで、マスコミからも取り上げられる機会を作ることが出来ている。イベントが定番化していくことで、市内の飲食店にも定着するし、ビジネスマンなどの旅行者にも新居浜市で夕食してもらえるようになる。新たな食ブランドの開発により観光消費額を押し上げるためにも、現状どおり継続する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
地元食材を使い、市内で味わえる新メニューを開発した11店舗が出店し、来場者数約1,900人、投票総数791票という結果で、飲食店と一緒に市民も新居浜グルメの創出に関わる良い機会となった。マスコミもイベント開催前・後で取り上げており、引き続き当該イベントを行い定番化、商品化していくことで、市民をはじめとした観光客へ市内での飲食喚起に繋げる。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07077_11		
事業名(行目名称)		物産振興対策費	細事業名	七福芋ブランド推進事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	新居浜ブランドの育成・拡大	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	スーパーマーケットトレイショーパイヤー数		数値	88,121人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド推進協議会の活性化による七福芋のブランディング</li> <li>・七福芋マップの更新製作</li> <li>・販路開拓(首都圏での催事(スーパーマーケットトレイショー)への出展)</li> <li>・新居浜高専との共同研究による商品価値創出</li> </ul>					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居大島でしか穫れない幻の白いも(七福芋)のブランド化並びに情報発信、販路開拓に取り組み、本市の弱みの一つである一次産品の生産量拡大並びに一次産品を活用した食・土産づくりの推進による観光振興、地域活性化を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		352	900	900	635	○負担金補助及び交付金 900千円	
財源	県・国支出金	74	450	450	211		
	地方債		0	0			
	その他	100	0	0	0		
	一般財源	178	450	450	424		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	
新規成立数		目標値	2	2	0	2	
		実績	6	4	0	—	
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>今年、(公財)日本離島センターが主催する「しまづくりキャラバン」に申込みをしたところ、参画できることになり、大阪と福岡においてBtoBの商談を実施する予定である。また、地元高専と七福芋の価値を見出すため、共同研究を実施していくため、共同研究の契約を取り交わした。特徴ある一次産品の少ない本市において、他との差別化を図ることのできる七福芋のブランド化については、生産コストのかかる芋であり、販売価格を落とすことができないため、露出を増やして全国に「希少価値の高いサツマイモ」であることを知ってもらい、小ロット高価格での取引ができる先を探していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>七福芋の特性上、現在の高価格でも販売できるようブランド化を進めていく必要がある。これまで大島で地産地消されていた七福芋を外に売っていくことが、農家を存続させ、大島を活性化するためには必要であり、小ロット高価格での取引が出来る相手先を徐々に増やしていく必要があり、引き続き、展示会出展を推進する。また、パイヤーからは、商品の立ち位置(他の芋との違い)の説明を要求されることが多いため、令和5年度も地元高専との研究により優位性を追求することとする。(交付金を活用予定)</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>展示会の出展において商談件数は何件もあったものの、ロット数においてマッチせず成立まで至らなかった。高専との共同研究では七福芋の機能性の研究により新たな商品価値を探索した。生産コストがかかる芋であるため、引き続き研究により新たな商品価値の探索を行ったり、出展を通じて露出を増やし、全国に「希少価値の高いサツマイモ」であることを知ってもらったりする等、小ロット高価格での取引ができる先を探していく必要がある。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07028_02		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	にいはま納涼花火大会事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	入込観光客数	数値	2,594,818人			
	手段(どうやって)	にいはま納涼花火大会事業への補助金の支出					
	目的(どんな状態にしたいのか)	四国最大級の打ち上げ総数による花火大会の開催により、新居浜市の知名度アップと入り込み観光客数の増による地域経済の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			4,115	0		○負担金補助及び交付金 4,115千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		4,115	0			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
花火大会観客数(人)		目標値	0	7500	-	80000	80000
		実績	-	0	-	0	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
にいはま納涼花火大会協賛会へ事業補助金を出すことによる観光振興への寄与。今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見送った。成果指標について、令和3年度までは花火打ち上げ総数であったが、令和4年度より、地域活性化を図ることを目的に花火大会観客数に指標変更を行った。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新居浜の夏の風物詩として、観光客増加を目指した花火大会を継続し、観光振興へ寄与するため現状維持の必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催中止としたため、目標達成は叶わなかった。令和5年度については計画通りに事業を実施し、地域経済の活性化を図っていく。							



## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	07028_05		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業補助金				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客		数値	1,200,000人			
	手段(どうやって)	新居浜市太鼓祭り推進委員会事業の実施(1) 諸会議の開催(2) 5地区かきくらべ会場を視察し、祭典推進の指導(3) 観光面への寄与(ポスター掲示・幟設置・横断幕[歓迎]設置・仮設トイレの設置など)(4) 太鼓台円滑運行の推進(信号機嵩上・道路標識移動・放送設備設置・横断幕[平和祭典推進])(5) 平和祭典への取り組み						
	目的(どんな状態にしたいのか)	盛大な秋祭りを実現し、新居浜市の知名度アップと入り込み観光客数増による地域経済の活性化を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 11,178千円		
経費		10,400	11,178	11,178	7,465			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	10,400	11,178	11,178	7,465			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
太鼓祭り観客数(人)			目標値	0	220000	0	150000	150000
			実績	0	0	0	99300	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
令和4年の新居浜太鼓祭りは、今年も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、山根グラウンド統一寄せ、船御幸、一宮の杜ミュージアムが中止となった。しかしながら、各地区運営委員会(協議会)において、感染対策を取りながら実施する方向で準備を進めている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
安全に安心して楽しめる太鼓祭りを推進し、観光客をはじめとした観覧者にリピーターとなってもらうため、太鼓台関係者及び推進委員会が強固に連携し、平和運行の啓発や太鼓祭りを活用した観光振興を行っていく必要があるため現状維持とする。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
令和4年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、「山根グラウンド統一寄せ」等が開催自粛となったこと、人出も少なかったこと等により、目標値の達成は叶わなかった。 令和5年度については計画通りに事業を進め、安全に安心して楽しめる太鼓祭りの推進を図り、太鼓祭りを活用した観光振興に努める。								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報		事後評価	2022	07028_10			
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	とっておきの新居浜検定事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市の歴史や文化等に関心のある新居浜市民等		数値			
	手段(どうやって)	新居浜市に関する近代化産業遺産、先人、食、物産、産業、観光、自然、方言、文化財等を問題にした「とっておきの新居浜検定」の実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜の良さを再発見する機会を市民に提供するほか、新居浜の魅力を発信し、新居浜を訪れる観光客を増やす。また、新居浜の未来を担う子どもたちに対しても、ふるさとの良さを再発見する機会を提供し、将来の地域経済の活性化につなげる。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)		令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		105	125	125	103		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	105	125	125	103		
○負担金補助及び交付金 125千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
新居浜検定受験者数(実数:人)		目標値	1200	1200	0	1200	1200
		実績	1232	1126	0	1107	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>産業遺産等の観光資源を活用し、観光地として新居浜を売り出していくためには、市民に観光地を含めもっと新居浜のことを知ってもらい、誇りを持ってもらうことが必要である。また、新居浜の未来を担う子どもたちに対しても、ふるさとの良さを再発見する機会を与えとともに郷土愛を醸成する必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>新居浜市の観光振興及び観光まちづくり推進を図るうえで、地域住民の視点や機運醸成は不可欠であることから、現状維持とする。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>ジュニア・初級・中級合わせて総受験者数1107人であり、市民に新居浜の魅力を学習してもらい良いきっかけとなった。検定を通じて市民に観光地を含め新居浜について知ってもらい、誇りをもってもらうことで、観光地としての新居浜を盛り上げるとともに、新居浜市観光ガイド育成の入口としても引き続き事業を継続する必要がある。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07028_11		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	一宮の杜ミュージアム推進事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客		数値	1,200,000人		
	手段(どうやって)	市内唯一の有料観覧席がある一宮の杜ミュージアムの開催 観光産業関係者と連携した広報、魅力あるツアーの開発、チケットの販売					
	目的(どんな状態にしたいのか)	これまでの参加者中心の運営から市内外の観光客に対して安心して見る、楽しむことのできる魅力あるイベントの実施により、まちづくりに貢献する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		475	475	475	475	○負担金補助及び交付金 475千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	475	475	475	475		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
一宮の杜ミュージアム観客数(人)		目標値	0	0	0	7000	7000
		実績	0	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和4年も開催できなかったが、次年度に向けた取り組みを行う。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新居浜太鼓祭り雄一の有料観覧席のある会場として、祭りを活用した観光振興のため、引き続き補助事業に取り組んでいく必要があると考えることから、現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が見送られたことから、目標達成は叶わなかった。 令和5年度については補助事業としての実施はない(事業を廃止する。)が、太鼓祭り期間中唯一の有料観覧席であり、観光客等が安全に観られる会場として紹介を行うことにより、新居浜太鼓祭りのイメージ向上と観光客の誘客に努める。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07028_12		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	新居浜観光ガイド事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	マイントピア別子(端出場・東平)と広瀬歴史記念館の観光客数		数値	6000人		
	手段(どうやって)	会員の拡大を図るためのガイド養成講座の実施、会員の知識向上のための先進地研修の実施、観光ガイドの実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光ガイドの実施により、ホスピタリティの向上と観光客の増加を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		361	361	361	0	○負担金補助及び交付金 361千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	361	361	361	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
ガイド実施数(人)		目標値	29000	6000	6000	—	10000
		実績	6669	5942	500	4308	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>今年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び、東平河又線落石による通行止めにより、3月から東平ゾーンへの観光案内ができていない。それに伴い、ガイド実績も減少しているが、山田社宅の一部公開や旧端出場水力発電所の整備など新たな観光資源も増える見込みがあるため、受け入れ態勢を整える取り組みを行う。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>令和5年度は、着地型旅行商品委託業務の中で観光ガイドの養成を継続実施し、交付金を充当する事業とした。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>令和5年度は、着地型旅行商品造成業務(委託事業)の中で観光ガイドの養成を実施するものとしている。継続的な旅行者の満足度向上のためには、着地型旅行商品のみならず現地で案内できるガイド機能が求められており、また本市観光資源の魅力を適切に伝えられるガイドの存在は必要不可欠であることから、事業の統合を図ったうえで引き続き事業を継続することとしたい。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07028_20		
事業名(行目名称)		観光事業推進費	細事業名	にいはまわくわく春祭り事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、主として市内在住の親子、市外からの観光客		数値	1189340人		
	手段(どうやって)	ゴールデンウィーク期間中における、にいはまわくわく春まつりイベント実施、ならびに子ども太鼓台の運行支援、子どもを対象としたイベントの実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	当市の今後の地域発展の担い手である子どもたちの郷土愛醸成ならびに、イベントにおける観光・物産の盛り上げを図り、新居浜市全体の観光物産振興を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			1,560	1,560	900	○負担金補助及び交付金 1,560千円	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他		780	780	450		
	一般財源		780	780	450		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
にいはまわくわく春まつり参加者数		目標値	0	0	10000	10000	10000
		実績	0	0	5000	5000	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>本年度ゴールデンウィーク期間に「にいはまわくわく春まつり」として事業を実施。初の新居浜駅前およびあかがねミュージアム範囲でのイベントであり、新型コロナウイルス感染症ならびに当日雨天の影響を受けたことから、イベント当日の客足の伸びが難しかったものの、実行委員会形式による各所の負担金等により、イベント内容の拡充ならびに適切な事業主体による効果的・効率的な事業実施が図られた。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>ゴールデンウィーク期間における初のイベント開催であり、継続した事業開催による認知度の向上および観光・物産の振興が図られるため、現状維持としたい。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	B:事業の進め方の改善検討				
<p>新居浜市駅前の人の広場およびあかがねミュージアムで実施される、春のイベントであり、コロナ禍中の実施にも関わらず一定層の集客があった。イベント内容や実施体制についてよりブラッシュアップし、効率的な運営・観光客の参加障害を取り除く必要があるが、集客イベントとしての定着を図り市内観光や物産のPRの場ともなるため、継続して事業を実施していくこととしたい。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	07030_01		
事業名(行目名称)		観光宣伝推進費	細事業名	観光宣伝推進事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民及び市外からの観光客		数値	1,189,340人			
	手段(どうやって)	観光パンフレットなどの製作や配布、観光誘致ポスターの掲示等による情報発信						
	目的(どんな状態にしたいのか)	入り込み観光客の増加を図り、地域経済の活性化を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,288	7,301	7,301	4,369	○報償費 355千円 ○旅費 451千円 ○需用費 1,960千円 ○役員費 1,077千円 ○委託料 3,458千円		
財源	県・国支出金	660	660	660	660			
	地方債		0	0				
	その他	84	350	350	90			
	一般財源	2,544	6,291	6,291	3,619			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
観光ポスター・パンフレット配布数			目標値	41000	36000	20000	40000	40000
			実績	39722	39122	9755	17195	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
観光パンフレットのリニューアル、新居浜太鼓祭りポスター・パンフレットの製作・配布等に取り組んでいるが、観光物産協会でもパンフレットが製作されており、統一感がないことが課題であり、また、経費の集約により、より良いものを製作するといった工夫がなされていない。市外・県外(特に首都圏)に向けた観光宣伝を行っていく必要がある。今年度はふるさと納税返礼品にも同封できるように観光パンフレットを増刷した。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
地方創生時代の地域間競争に勝ち抜くためには、市外・県外向けの観光宣伝推進は必須であり、より戦略的にPRを図っていく視点を持ちながら、引き続き計画通りに事業を進める。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
本事業において、当市観光の宣伝のため、観光パンフレットのリニューアルや新居浜太鼓祭りポスター・パンフレットの製作・配布等に取り組んでいる。(一社)観光物産協会でもパンフレットの製作が行われていることから、引き続き各情報の統一、必要物の選定に努める必要がある。コロナ禍からの脱却において、引き続き域外の誘客を図るため、観光宣伝の推進は必要となることから、内容の刷新を進めつつ、継続して事業を進めることが求められる。								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07033_01			
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	NS観光推進協議会事業				
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興				
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市、四国中央市の市民及び他市からの観光客		数値	2,594,818人			
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロードマップ等の製作・配布</li> <li>・SNSによる情報発信や各種誘客イベントの開催</li> <li>・幹事会・総会等による情報交換</li> </ul>						
	目的(どんな状態にしたいのか)	四国中央市との連携による広報宣伝活動の充実を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		450	450	450	450	○負担金補助及び交付金 450千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	450	450	450	450			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
別子・翠波はな街道主要施設入込観光客数			目標値	688400	500000	250000	500000	500000
			実績	531859	493077	-	614417	-
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>本事業は新居浜市と四国中央市、ならびに別子翠波はな街道沿線の施設で構成する「NS観光推進協議会」にかかる事業であり、前年より始動した別子翠波はな街道公式HPならびに公式Instagramアカウントを引き続き展開し、web上での広報誘客を図っている。今年度は公式Instagramアカウントと県内広報誌を連携し、一層の周知ならびに素材収集を実施予定。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>四国中央市と連携の上、今後も継続的な広域観光推進を行っていく必要があることから、現状維持とする。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
<p>本事業は新居浜市と四国中央市、ならびに別子翠波はな街道沿線の施設で構成する「NS観光推進協議会」にかかる事業である。両市協働の上、継続して「別子・翠波はな街道」エリアの魅力向上およびPRを実施する必要があることから、引き続き沿線上施設と連携を図りながら、エリアの一層の周知、広報宣伝に努める。</p>								

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07033_02	
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	別子・翠波はな街道サイクリング事業		
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興		
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市、四国中央市の市民及び他市からの観光客		数値	2,594,818人	
	手段(どうやって)	「別子・翠波はな街道」をコースとしたサイクリング大会の開催				
	目的(どんな状態にしたいのか)	「別子・翠波はな街道」を舞台に、最近の観光振興の潮流であるサイクリングを活用し、四国中央市と共同にてサイクリング大会「別子・翠波はな街道サイクリング」を開催することにより、同ルートのPRや更なる地域活性化の推進を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 700千円
経費		700	700	700	700	
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	700	700	700	700	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度
参加者人数(人)		目標値	500	400	200	200
		実績	0	中止	60	60
			—			
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
<p>初の新居浜市発着のルート設定かつ中級から上級者向けのコースであるため、参加者目標人数には到達しなかったものの、中四国地域からエントリーされる方もおり、「別子・翠波はな街道」について市内外に向けてPRが行えた。毎年ルートが変わっており、参加者もエントリー時にコースをイメージしづらいため、ある程度コースを確定する必要があると考える。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>当イベントを通じて、特産物や施設の利用券等を提供することにより、リピーターやファンの獲得が見込まれ、更なる地域活性化にもつながることから現状維持とする。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>「別子・翠波はな街道サイクリング2022」は初めての別子・翠波はな街道発着かつ、上級者向けのルートであったため、参加者数が60名であったが、参加者に特産物や施設の利用券を提供することにより、市内外からの参加者に向けて効果的にPRが行えた。四国中央市との広域観光のイベントとして、引き続き事業を継続することで、同ルートの知名度向上及び観光客の誘客につなげたい。</p>						



## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07033_03		
事業名(行目名称)		広域観光推進費	細事業名	三市連携広域観光宣伝推進事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	東予東部三市における県外観光客数	数値	964,000人			
	手段(どうやって)	・インバウンド向けフリーマガジンへ三市観光情報を掲載					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地方への誘客のためには、広域周遊ルートの形成や地域の観光資源の磨き上げを行うことが必要であり、また、効果的なプロモーション活動が必要である。本事業では、東予東部の3市が連携して情報発信することによって、情報発信力強化及び観光地域のブランド化を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 367千円	
経費		0	367	367	367		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	367	367	367		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
県外からの観光客数(千人)		目標値	1200	1000	500	1000	1000
		実績	569	538	-		-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
本事業は、新居浜市と隣接する西条市・四国中央市と連携し、東予東部圏の広域的な観光施策、インバウンドの推進に取り組んでいる。本年度は広域的インバウンド施策として、web上での多言語記事掲載を進めており、三市一体の誘客施策を実施する予定。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
ウィズ・コロナ、アフター・コロナも踏まえた、時代にあったより効果的な情報発信やプロモーション活動の手段を模索する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
本事業は、新居浜市と隣接する西条市・四国中央市と連携し、東予東部圏の広域的な観光施策、インバウンドの推進に取り組んでいる。アフターコロナを見据え、インバウンド旅行者の回復需要に適切に対応していくため、新居浜市単体でない広域な連携を継続して実施する必要がある。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07088_01		
事業名(行目名称)		観光施設整備事業	細事業名	観光施設整備事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	観光施設数	数値	8			
	手段(どうやって)	自然災害や老朽化等により不具合が起こった観光施設を修繕する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	観光施設を良好な状態で維持する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		377	855	855	276	○需用費 855千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	377	855	855	276		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
観光施設修繕箇所数(施設)		目標値	5	5	5	5	5
		実績	1	1	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新居浜市内に所在する各観光地の修繕のための事業であり、市内観光地はどれも20年～30年が経過していることから修繕の必要性が高まっている。修繕箇所が増加に伴い1件あたりの修繕費用も上昇おり、限られた予算の中で優先順位をつけて実施する必要があることから、成果指標の目標値に届いていないものの、現状のまま維持する。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>各観光地において利用者の安全で快適な利用環境を維持するため、事前修繕や緊急修繕を毎年実施していく必要があることから現状維持とする。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>令和4年については1件の修繕のみとなったが、20年～30年が経過した市内観光地の不測の修繕等に対応し、本市の観光振興が滞ることのないように対応していくことが不可欠であることから、今後も事業を継続していく必要がある。(今後、1件当たりの修繕金額の傾向を見ながら、適宜目標値を修正する。)</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07221_01		
事業名(行目名称)		太鼓祭り観光資源化推進事業費		細事業名	太鼓祭り観光資源化推進事業		
総合 計画	まちづくり	経済・雇用		施策	観光・物産の振興		
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘		担当課	観光物産課		
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客			数値	1,200,000人	
	手 段 (どうやって)	市民や観光客が安全で快適に太鼓祭りを楽しむことができるよう観光面での取組実施(仮設トイレの設置、警備員の配置など)					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	観光客の安全確保と利便性向上を図ることにより、新居浜太鼓祭り、新居浜市の認知度アップ、地域経済の活性化を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 8,278千円	
経費			8,278	8,278	4,501		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		8,278	8,278	4,501		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
太鼓祭り観客数(人)		目標値	220000	220000	0	150000	180000
		実績	0	0	0	99300	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和4年新居浜太鼓祭りは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、山根グラウンド統一寄せ、船御幸などが開催自粛となった。それに伴い、仮設トイレの設置や警備についても縮小となった。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
令和5年度は、新居浜太鼓祭りの通常開催を見込み、警備費用や仮設トイレの増設などがあるため、現状維持とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
令和4年度は3年ぶりの開催となり、土日も重なったことから、観光客の安全確保と利便性向上を図ることにより、新居浜太鼓祭りのPRを図ることができた。しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により、「山根グラウンド統一寄せ」等が開催自粛になったほか、人出も少なかったことから、目標値の達成は叶わなかった。 令和5年度については、通常開催となるため計画通りに事業を進め、目標達成を目指すとともに、関係者等と連携を取りながら太鼓祭りの観光資源化を推進していく。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07225_01		
事業名(行目名称)		えひめさんさん物語スパイラルアップ事業費	細事業名	えひめさんさん物語スパイラルアップ事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	東予東部三市における県外観光客数		数値	964,000人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えひめさんさん物語フォローアップ協議会における各種事業の展開、広報誘客促進事業の実施</li> <li>・ゆらぎの森リレーマラソンの実施</li> <li>・マイントピア別子天空の音楽祭の実施</li> </ul>					
	目的(どんな状態にしたいのか)	平成31年度に開催された東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」の取組を一過性のもので終わらせることなく、閉幕後もこの圏域の価値を磨きあげ、圏域内外に継続的に発信することにより、圏域の知名度向上と交流人口拡大、定住・移住の促進を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 6,270千円	
経費		5,194	6,270	6,270	6,269		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	5,194	6,270	6,270	6,269		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
リレーマラソン及び音楽祭参加者数		目標値	800	600	600	600	600
		実績	0	351	0	365	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>平成31年に実施された東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」の取り組みを一過性のもので終わらせず、地元資源としてスパイラルアップさせることが目的である。新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの開催時期を検討している状況であるが、県主導による当該事業の終了後も、成果の検証ならびに定着を図るため、継続かつ地域に根差した形での開催を検討していく必要があり、引き続き展開していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>えひめさんさん物語の成果の継承やイベントの定着のため、地域の自主的なイベント実施に向けたフォローを主軸とすべきであり、全体事業経費における相当額を負担金等として交付する形で本事業を維持していきたい。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>平成31年に開催された東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」の取り組みを一過性に終わらせず、地元資源としてスパイラルアップさせることが本事業の目的であった。令和4年度については、コロナ禍におけるタイミングを見計らいつつ「天空の音楽祭」「ゆらぎの森リレーマラソン」を実施し、各イベントに多数の参加者を得た。継続的な実施の中で参加者の満足度も上がっており、成果継承やイベント定着のため、地域の自主的なイベント実施に向けたフォローを主軸としていく必要があり、受入先の組織の方向性を模索しつつ、市事業としての実施は廃止することとする。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07254_01		
事業名(行目名称)		観光物産事業推進費	細事業名	新居浜市観光物産協会事業補助金			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市観光物産協会会員		数値	288		
	手段(どうやって)	新居浜市の観光物産振興に関する各種イベント開催のほか、会員増強に努める。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	一般社団法人としての安定した組織運営を図るため会員を増強し、各種観光または物産イベントへの参画、宣伝強化による当市全体の観光客数増を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 18,704千円	
経費			18,704	18,704	18,704		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		18,704	18,704	18,704		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
観光宣伝事業実施数		目標値	-	-	15	15	15
		実績	-	-	0	8	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>令和3年4月に設立した一般社団法人新居浜市観光物産協会において、定款に求める目的を達成するため、各種事業を実施しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、思う通りの事業実施が図れていない。効果的な事業等、コロナ禍の状況を見つつ検討し、各地での当市PRや、アフターコロナの観光需要回復を睨んだ取り組みを模索する。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>新居浜市全体の観光および物産の振興を図るためには、必要不可欠な事業であり、継続して実施する。一般社団法人新居浜市観光物産協会が設立後まもなく、近々の課税団体化およびインボイスへの対応が求められることから、体制の確立や組織運営の地盤が固まるまでは、継続して計画通りに事業を進めることが適当である。また、物産事業による収益構造の獲得から、受託事業による収益体制の確立等、安定した組織基盤の確立を図り、自立した事業体制が図れるよう注力していく。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	B: 事業の進め方の改善検討				
<p>新居浜市全体の観光及び物産の振興を図るためには、地域DMOが存在しない当市において、一般社団法人新居浜市観光物産協会は観光物産面で重要な組織である。課税団体化やインボイスへの対応等、人員体制の確立等から組織運営の地盤が固まるまでは継続した事業実施が適当である。しかしながら、収益事業の獲得や組織独自の自主事業などが必要であることに加え、全国的に、稼げる観光まちづくりの推進を視野にDMOを設立する事例もあることから、適切な組織体制等の構築検討を図り、より地域に寄与する組織づくりを進める必要がある。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07256_01		
事業名(行目名称)		地方創生インターン観光資源活用事業費	細事業名	地方創生インターン観光資源活用事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	マイントピア別子等における新規客・リピーター数		数値	286,648人		
	手段(どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年実施のソフトバンクインターン「TURE-TECH」における提案を基に、利用客・リピーター増加を目指した新規コンテンツの検討</li> <li>・星空観賞会の実施</li> <li>・ナイトシアターの実施</li> </ul>					
	目的(どんな状態にしたいのか)	2021年実施のソフトバンクインターン「TURE-TECH」において、「マイントピア別子等の観光振興策」に取り組んだ学生の提案を基に、新居浜市の観光のゲートウェイであるマイントピア別子にて、閑散期におけるコンテンツ造成、観光客の増加を目指し、若者目線で提案された施策の実現化による、再来訪の機運向上、情報発信力の強化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			150	150	150	○負担金補助及び交付金 150千円	
財源	県・国支出金		0	0	75		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		150	150	75		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
イベント参加者数		目標値	-	-	30	100	-
		実績	-	-	34	120	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>本事業は2021年度に実施されたソフトバンクインターン「TURE-TECH」において、「マイントピア別子等への観光振興策」に取り組んだ学生6名の提案を基に、新居浜市の観光におけるゲートウェイであるマイントピア別子を主軸として、新しい観点のコンテンツ造成ならびにファン作りに寄与する施策に取り組むものである。マイントピア別子においては夜間におけるイベント等が行われていない現状から、夜間ならびに閑散期においても実施が可能な「星空観賞会」と「ナイトシアター」の2種を進めており、ワークショップ等の参加型イベントが一定の評価もあることから、施設が自走できるイベントとして継続して行えるよう検討していく必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>インターンにおき提案を基に実施を図る本事業においては、今年度限りの負担金とし、施設側で自走できるイベントとして再検討を図っていきたい。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
<p>本事業は2021年度に実施されたソフトバンクインターン「TURE-TECH」において、「マイントピア別子等への観光振興策」に取り組んだ学生6名の提案を基に、新居浜市の観光におけるゲートウェイであるマイントピア別子を主軸として、新しい観点のコンテンツ造成ならびにファン作りに寄与する施策に取り組むものであった。これまで実施されていなかったナイトタイムコンテンツとして一定の評価を得られたことに加え、継続実施の要望も多かったことから、施設側が自走して実施するイベントとして「星空観賞会」が計画されており、新たなコンテンツ造成に寄与した。負担金については令和4年度限りであることから、市事業としては廃止する。</p>							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07258_01		
事業名(行目名称)		別子山観光交流施設整備事業	細事業名	別子山観光交流施設整備事業			
総合 計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民及び市外からの観光客	数値	1,189,340人			
	手 段 (どうやって)	ゆらぎの森再整備に向けた基本計画及び基本設計の策定					
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	別子山地域における観光拠点整備による、近代化産業遺産や自然を活用した新たな観光資源の充実と交流人口の拡大を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 7,000千円	
経費			7,000	7,000	6,864		
財 源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		7,000	7,000	6,864		
	一般財源		0	0	0		
IV 指 標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
再整備事業基本計画策定数		目標値			1	1	0
		実績			0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
ゆらぎの森再整備に向けた基本計画及び基本設計において、新施設の考え方、概算事業費、管理運営の考え方などをまとめ、来年以降の実施に向けた取りまとめを行う。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
別子山地域における活性化策のひとつである「ゆらぎの森再整備」については、令和4年に基本計画及び基本設計を策定し、令和5年以降に実施設計及び施工を実施するため、重点化する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
別子山地域の新たな魅力の創出、地元雇用の促進、交流人口の拡大及び移住・定住の促進を図るため、ゆらぎの森再整備に伴う宿泊棟の基本計画及び基本設計を策定した。今後は、実施計画及び施工により事業を進めていく必要があるが、運営方法や採算性、地元住民の協力体制等課題が多く、事業規模や内容の見直しを含め、検討を図る必要がある。							

## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07259_01		
事業名(行目名称)		市制85周年記念新居浜太鼓祭りイベント事業費	細事業名	市制85周年記念新居浜太鼓祭りイベント事業			
総合計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	地域資源の磨き上げと次世代の観光資源の発掘	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民、太鼓台関係者及び市外からの観光客		数値	150,000人		
	手段(どうやって)	市制施行85周年を祝うイベント開催費として各地区運営委員会(協議会)【8地区】に対する補助を行う。 ・イベント開催支援(各太鼓台10万円上限) ・新型コロナウイルス感染症対策支援費(各太鼓台10万円上限)					
	目的(どんな状態にしたいのか)	盛大な秋祭りを実現し、市民とともに市制施行85周年を祝うイベントを実施し、地域経済の活性化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			10,800	10,800	10,207	○負担金補助及び交付金 10,800千円	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		10,800	10,800	10,207		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
太鼓祭り観客数(人)		目標値			0	150000	0
		実績			0	99300	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや低い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
令和4年は、市制施行85周年という節目であったため、各地区運営委員会(協議会)が行う記念事業に補助を行う。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和5年は、周年ではないため、廃止する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
コロナ禍において、各地区で工夫をしながらイベント開催を行っていたが、「山根グラウンド統一寄せ」等の開催自粛もあり、目標値には届かなかった。本事務事業については、周年事業として実施したものであり、一旦廃止とする。							



## 令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	07210_03		
事業名(行目名称)		インバウンド観光推進費	細事業名	インバウンド推進事業			
総合 計画	まちづくり	経済・雇用	施策	観光・物産の振興			
	基本計画	観光マーケティング機能の導入と受入体制の充実	担当課	観光物産課			
II 事務事業の実施概要							
事務 事業 内容	対象(誰・何を)	外国人観光客数	数値	10,037人			
	手段(どうやって)	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会への参加による、外部機関と連携した誘客施策の実施や市内における外国人観光客受け入れ態勢の整備を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	日本国内全体が観光立国を目指す中、増加する外国人観光客の新居浜市への誘客を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		450	5,962	5,962	5,905	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 80千円</li> <li>○旅費 180千円</li> <li>○委託料 5,252千円</li> <li>○負担金補助及び交付金 450千円</li> </ul>	
財源	県・国支出金	0	2,626	2,626	2,602		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	450	3,336	3,336	3,303		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
外国人観光客数		目標値	14100	16300	-	18500	
		実績	2891	1957	-	3472	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>年度当初には渡航制限の緩和がなされ、日本へ入ってくる外国人観光客は徐々に増えてきているが、新型コロナの影響が大きく、インバウンドの回復は厳しい状況である。令和4年度事業については、afterコロナを見据えた事業としているため、引き続き実施する。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により国内観光客も回復しておらず、まずは、国内需要の回復に努めるため、インバウンド関連事業については、海外往来を要する事業は縮小する方針。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
<p>海外旅行会社向け旅行商品の造成とWEBサイトへの二次交通対策機能の追加を実施し、外国人旅行者の受け入れ環境の整備を行った。新型コロナウイルス感染症対策が緩和され徐々に外国人観光客も戻っては来ているものの、国内需要もまだ回復しておらず、まずは老朽化した設備の改修等外国人観光客の受け入れ環境を整えていく必要がある。</p>							